企画展

「水の器―手のひらから地球まで」

生命の根源、水。民博所蔵の様々な器やペットボトルから地球規模まで、器を通して人と水の問題を幅広く考えます。
会期　六月二二日(火)まで
会場　本館展示場
※研究者によるギャラリートークをおこないます。
日時　六月一三日(日)
①一一時～一一時二〇分
②一五時三〇分～一五時五〇分

■関連イベント
地球研・市民連携ワークショップ②「びっくり！あなたの水もミネラルウォーター」
実施日　六月一二日(土)
時間　一三時三〇分～一五時
会場　第五セミナー室
※参加無料・申込不要
※対象は小学校高学年からです。
お問い合わせ
情報企画課情報企画係
電話　〇六―六八七八―八五三一
(平日九時～一七時)

「伊勢の染型紙―映像と実物にみる匠の技―」

江戸時代に流行した小紋染めには、おもに伊勢で作られた伊勢型紙が使われていました。映像資料とともに型紙を展示し、伝統の技を紹介します。
会期　六月二九日(火)まで
会場　本館展示場
※研究者によるギャラリートークをおこないます。
日時　六月一五日(火)
一四時三〇分～一五時三〇分

音のカ―夏のみんぱくフォ―ラム二〇一〇

●音楽の祭日二〇一〇 in みんぱく

一九八二年にフランスで、夏至の日にみんなで音楽を楽しむ「音楽の祭典」がはじまりました。みんぱくも、八年連続して世界のさまざまな楽器を使った音楽で「音楽の祭日」を祝います。
実施日　六月二〇日(日)
時間　一〇時一五分～一七時
会場　特別展示館一階等
※参加無料・申込不要
お問い合わせ
情報企画課展示グループ
電話　〇六―六八七八―八五三一
(平日九時～一七時)

◆研究公演
公演とワークショップ「トランシルヴァニアの舞踊と音楽」
実施日　六月二七日(日)
時間　一一時～一五時五〇分
会場　本館一階エントランス
※参加無料・申込不要
お問い合わせ
広報企画室企画連携係
電話　〇六―六八七八―八一一〇
(平日九時～一七時)

◆国際研究フォーラム「文化遺産の返還とその再生―アラスカ州コディアク島の仮面をめぐって―」
実施日　六月二六日(土)
時間　一四時～一六時一五分
会場　講堂
定員　四五〇名
参加費　無料
参加申し込み方法
氏名・所属・電話またはFAX番号・E-mail・レセプション参加の有無を明記し、左記までお申し込みください。
お問い合わせ
研究協力課国際協力係
電話　〇六―六八七八―八二三五
FAX　〇六―六八七八―八四七九
E-mail　clifford.min@idc.minpaku.ac.jp
(平日九時～一七時)

◆吹田市制施行七〇周年記念事業「吹田の知　集結&発信」合同講演(四大学・一研究機関合同企画事業)
実施日　七月一一日(日)
時間　十二時～一八時
会場　メイシアター大ホール
参加費　無料
参加申し込み方法
住所・氏名・電話番号・人数・開催日を書いて、往復はがき、FAX、またはE-mailにて「吹田市事務局」までお申し込みください。応募者多数の場合は、抽選となります。
申し込み締切り
六月一九日(金)必着
お問い合わせ
吹田市制施行七〇周年記念事業実行委員会事務局
電話　〇六―六三八四―三一〇四
FAX　〇六―六三六八―七三四三
E-mail　info@suita70.jp

●無料観覧日のお知らせ
六月二〇日(日)は、音楽の祭日のため展示場を無料で観覧いただけます。ただし、自然文化園を通行される場合は入園料が必要です。

＊詳細については、みんぱくホームページをご覧ください。

刊行物紹介

■齊藤玲子・大村敬一・岸上伸啓　編
『極北と森林の記憶―イヌイットと北西海岸インディアンの版画』
昭和堂　定価：4,410円(税込)
カナダ・イヌイットと北西海岸先住民が制作した約150点の版画（民博所蔵）の写真とともに、それら先住民版画の歴史や現状、特徴、技法、作家について解説を加えた本邦初の研究書である。

■青木文教　著
長野泰彦・高本泰子　編・校訂
『西藏全誌』
芙蓉書房出版　定価：15,750円(税込)
本書は当館アーカイブ「青木文教チベット資料」に含まれる「西藏全誌」の翻刻である。初期入藏者の一人、青木師は1903年からラサ市内に約3年間滞在し、ラサ市民の生きた営みを仔細に観察し、この民族史を著した。

友の会

友の会講演会（大阪）
会場●国立民族学博物館
第5セミナー室
定員●96名（当日先着順、会員証提示）

第385回　7月3日(土)
時間●14：00～15：30（13：30開場）
日本に暮らす外国人の今
―特別展「多みんぞくニホン」その後
講師　庄司博史(民族社会研究部教授)
日本の外国人登録者数は2005年に200万人を超え、その後も増え続けています。外国人スポーツ選手やテレビタレントの活躍、エスニックレストランや国際結婚の増加などもあり、日常生活において外国人に接することもめずらしいことではなくなっています。彼らは日本社会の中でどのように暮らしているのでしょうか。

第386回　8月7日(土)
時間●14：00～15：30（13：30開場）
企画展
「歴史と文化を救う」関連
被災した文化財が語りかける歴史と文化の記憶
講師　日高真吾(文化資源研究センター准教授)
※講演会終了後、企画展見学会があります

東京講演会

第94回　7月19日(月・祝)
時間●14：00～15：15（13：30開場）
チベット　ポン教とは何か
講師　長野泰彦(民族文化研究部教授)
ポン教は、仏教伝来以前からチベット文化域に広く分布している宗教で、チベット精神文化の基層を形成しています。ポン教の歴史や仏教との関連、現代におけるポン教の実態とポン教研究の意義についてお話しします。
会場●国文学研究資料館　大会議室
定員●200名（要申込、下記まで）
参加費●500円（会員は無料）
※講演終了後、懇談会と展示解説があります(会員限定)

第76回　民族学研修の旅
シベリアの森を歩く
―少数民族ナーナイの村を訪ねて
旅行期間●7月26日（月）～30日（金）
旅行代金●298,000円（燃油代等別途）
詳細は下記までお尋ねください。

国立民族学博物館友の会
電話　06-6877-8893
ファックス　06-6878-3716
電話でのお問い合わせは
月曜～金曜日9時から17時までにお願いします。
http://www.senri-f.or.jp/
E-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

みんぱくゼミナール

会場　国立民族学博物館 講堂
時間　13:30～15:00(13:00開場)
定員　450名（当日先着順）
参加費　無料
展示場をご覧になる方は、観覧料が必要です。

第385回　6月19日（土）
北タイの精霊ダンス
講師　田辺繁治(民博名誉教授)・
平井京之介(民族文化研究部准教授)
北タイでは、精霊が主として女性の身体に憑依してダンスを演じる祭祀が現在もおこなわれています。そのパフォーマンスの華やかで躍動的な美しさと、人びとを癒しや解放へ導く不思議な魅力についてご紹介します。

第386回　7月17日（土）
［新音楽展示関連］
聖人の力を伝えるガムラン
福岡 正太(文化資源研究センター准教授)
インドネシア、ジャワ島北海岸の町チルボンにあるカノマン王宮には、聖人の力を伝える楽器ゴン・スカティが所蔵されています。この楽器は、年に1回、イスラームの預言者ムハンマドの生誕祭に演奏されます。ゴングと鉄琴を中心に構成されるこのアンサンブルがもつと考えられている不思議な力について紹介します。

ミュージアム・ショップ

匠の技　伊勢型紙

現在開催中の「伊勢の染型紙―映像と実物に見る匠の技―」に関連し、伝統的な染型紙の技術を用いた色紙やしおりを販売しております。

渋紙に彫刻刀などで模様を彫り出した精緻で優美な匠の技は国の重要無形文化財に指定されています。この機会にぜひ手にとってご覧下さい。
※「染型紙の故郷」、鈴鹿市白子地区で活動されている「伊勢型紙技術保存会」のご協力で特別に商品を取りそろえております。

伊勢型紙色紙・小(1,200円)、大(3,000円～)

国立民族学博物館
ミュージアム・ショップ
電話　06-6876-3112
ファックス　06-6876-0875
水曜日定休
ウェブサイトもご覧ください。
オンラインショップ
「World Wide Bazaar」
http://www.senri-f.or.jp/shop/
E-mail shop@senri-f.or.jp